

KWC 富士山の麓から三島神社に寄り、衣笠城址へ

日時：2018年11月23日（金・勤労感謝の日）

集合：①三浦海岸駅→②三浦海岸（0m地点）→③長岡半太郎記念館→④富士山の麓→⑤三島神社

⑥→衣笠城址（ゴール）→⑦衣笠駅 23,000歩 約16km（伊藤自宅含め 29,500歩）

参加者：吉越L・勅使河原・熊坂・高橋文・伊藤眞・青松・佐藤繁・志村・桑名・木村・中林・上曾山・吉岡・鈴木考 合計14名

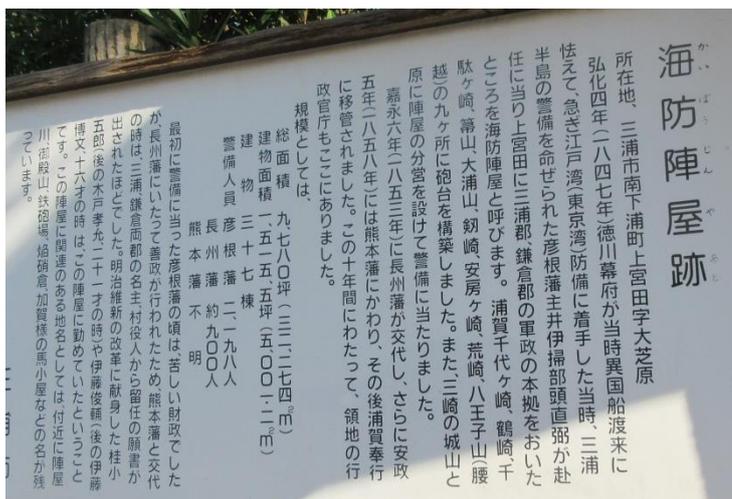
地図：



京急三浦海岸駅 お迎え 駅は改装中 吉越L参加者チェック 今日は14名人数点呼しやすい



三浦海岸沿いを歩きます。海防陣屋跡 9月22日(土) 吉越L三浦半島縦断でも歩き貝殻植栽思い出す



駐車場で熊坂さんストレッチ 1992年オーストラリアと姉妹都市記念松 大根運搬車? 判りました!



浜で5日間位吊るし干し
大根丈切り落とし持ち帰り

10:30 吉越さん顔なじみの海岸店でお湯を沸かしてお茶タイム ここでワカメ買いました。(冷凍保存で長く保存OK)



店の人家族で
ウォーキング
されるよう
です。

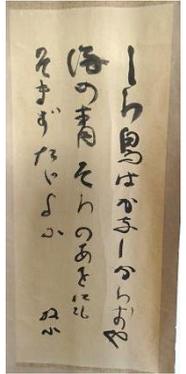
ヨットの群れと 房総半島の連山、加納山、ノコギリ山等が綺麗に見える。東京湾は素晴らしい湾だ。



長岡半太郎記念館（入場料無料） 11:20~11:50 ここで昼食



長岡 半太郎（ながおか はんたろう、1865年8月19日（慶応元年6月28日） - 1950年（昭和25年）12月11日）は、日本の物理学者。土星型原子モデル提唱などの学問的業績を残した。また、東京帝国大学教授として多くの弟子を指導し、初代大阪帝国大学総長や帝国学士院院長



などの要職も歴任した。1937年（昭和12年）、第一回文化勲章受章。正三位勲一等旭日大綬章追贈。



長岡とよ夫人



昭和6年5月1日 大阪帝国大学開学式記念写真

1910年（明治43年）ごろ、この地の古い建物を買い、仕事の合間をみて、東京霊岸島から定期蒸気船（法蔵院前あたりに発着所がありました）に乗って訪れ、水泳をしたり、三浦富士に登ったりしたようです。

1950年（昭和25年）12月、85才で亡くなりました。亡くなる直前まで研究に没頭し、机の上には、大きな物理学の本が開かれたままだったそうです。

1981年（昭和56年）、生前の功績をしのび、別荘のあったこの場所に記念館が建てられました。別荘の大きさは、長沢橋から堂前川に沿った海側一体の広大な敷地内にあり、クヌギ林、モモ畑、梅林、夏ミカンなどが植えられ、30坪あまりの鳥小屋が2棟もあり、七面鳥、ガチョウ、レグホンなどが飼われ、大きなサボテン温室もあったそうです。

若山牧水



若山牧水 大正2年（29歳）

若山喜志子 大正2年（26歳）



制帽を冠って

早稲田大学卒業当時

（以下略）

明治18年（1885年）8月、宮崎県東臼杵郡東郷町で生まれました。本名は繁です。「牧水」は雅号で、母親の名前マキ（牧）と、牧水が愛した坪谷川の水を合わせたと言われていています。大正4年（1915年）3月、妻の喜志子の療養のために、東京から北下浦長沢の斎藤松蔵方に転居しました。ここで長女のみさきが生まれました。

大正5年（1916年）6月、近くの谷重次郎方に転居します。開業医、田辺久衛氏によって妻はめでたく快復しました。牧水は月に1回~2回、浦賀へ行ったり、近所の子供たちと一緒に釣りに行ったり、松輪へ行ったりしていました。しかし、経済的には恵まれず、家族に対する愛情と、仕事への意欲とのほざまで苦悩していたようです。旅行とお酒が大好きな人でした。（HPより）

椅子とテーブルがあり、海を眺めながらの昼食です



サングラスの人伊藤も陰で覗く・・・

ここからの眺め

北下浦コミュニティセンターを通り抜け近道



北側正面口に出た

この野菜は？

長沢川に出ました「イラッシャイませ！」



三浦富士に向かいます

十月桜？

久里浜霊園「三浦大仏」



衣笠へ向かう



通研通り：通研通りとは、野比の大作交差点から通研入り口までの約4kmの道路のことを指します。現在は「NTT横須賀研究開発センタ」という名称でしたが、日本電信電話公社（通称、電電公社）の時代、**横須賀第二電気通信研究所**という名称だったため、通信研究所、または**通研**と呼ばれています。現在でも地元では通研の方が通りが良いようです。（HPより）



浅間神社 三浦富士（183m）登りませんが登山口で記念写真 通研通り長い隊列 桜満開時は最高でしょう



NTT横須賀開発研究センター（以前体験有り）通研通り頂上に到着、乗り捨て車 産業廃棄物最終処分場横



下り坂になると草木に目がいく

ここで通研道りから左折三島神社へ

三島神社 13:00



64段（熊坂さんの数え）急石段を登る

本殿参拝



カ石



富士山が見える場所今日は駄目



御神木スタジオ?巨木



常緑のスタジオ、アカカシ、モチノキに囲まれた社殿前で集合写真

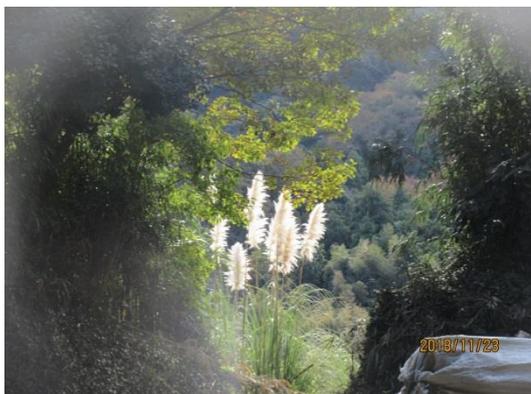


伊藤も証拠写真



神社の創建年代は不詳ですが、
天保12年（1841年）頃の
新編相模風土記に
以下の内容が記載されています。
「三島社 村の鎮守なり

例祭9月11日」 これより創建は江戸時代の天保の頃と考えられ、約200年程度の歴史があると考えられます。これらの社は武の各郷にあったものが、明治時代に始まった一村一社運動の影響を受け、昭和8年に神明社が、昭和18年に走湯社と吾妻社が三島社に合祀されました。（HPより）
目立っています 帰りは石敷歩道を下ります 銀杏が綺麗でした



トンネルに入ります

入口に地藏さん

明るい



金子 家忠 (かねこ いえただ 城主である金子氏の起源ですが、武蔵七党の1つ、村山党の出自です。桓武平氏の高望王は坂東(関東地方)に下り、坂東八平氏の基礎が築かれます。高望王から6代目が村山頼任であり、東京都東村山付近に在住しました。その子、頼家の子息は入間郡内各地に分散し、その内の1人は、金子六郎家範と称し入間市木蓮寺に在住したそうです。南向きの丘陵斜面に構えられたであろう館跡は墓地となっていますので、面影がありませんが、立地条件は満たしているものと思われまます。もちろん土塁や空堀の遺構は期待できませんが・・・

衣笠城址へ行くのに苦労しました。スマホと地元の人に聞く。バイパストンネルが出来てややこしい。



【衣笠城址】

横須賀市指定史跡

衣笠城跡

昭和四十一年六月十五日 指定

山麓の右を流れる大谷戸川と左手の深山川に挟まれ東に突き出た半島状の丘陵一帯が衣笠城跡である。源頼義に従って前九年の役に出陣した村岡平太夫為通が戦功によって三浦の地を与えられ、所領となった三浦の中心地である要害堅固のこの地に、両川を自然の堀として、康平年間(一〇五八―一〇六四)に築城されたといわれ、以後為継・義継・義明の四代にわたり三浦半島経営の中心地であった。

治承四年(一一八〇)八月源頼朝の旗揚げに呼応して、この城に平家側の大軍を迎えての攻防戦は、いわゆる衣笠合戦として名高い。丘陵状の一番裾が衣笠城の大手口で、ゆるやかな坂を登って滝不動に達する。居館は水の便の良いこの附近の平場にあってたかと推定され、一段上に不動堂と別当大善寺がある。さらに、その裏山がこの城の最後の拠点となる詰の城であったと伝えられる平場で、金峯山蔵王権現を祀った社が存在した。また、その西方の最も高い場所が一般に物見岩と呼ばれる大岩があり、その西が急峻な谷になっていて、このように、この地一帯は平安後期から鎌倉前期の山城で、鎌倉時代の幕明けを物語る貴重な史跡である。

平成三年三月

2003年開館!

衣笠城跡案内図

(横須賀市指定史跡)

衣笠城跡(市指定史跡) 指定面積633㎡
城跡といっても平安・鎌倉時代の山城(やまじろ)ですから石垣や天主閣はありません。
衣笠合戦(1180)は三浦一族と平家方との激しい戦いで、このお城を有名にしました。
しかし、現在ある衣笠城跡はその後、宿敵北条氏に対抗するため、鎌倉時代後期に大改造されたものです。でもその後、三浦氏は鎌倉で滅ぼされてしまいます。(宝治元年・1247)尚、大正8年に物見岩の下から経筒、他が発見されました。

すく、攻めにくい山城

衣笠城址と衣笠山公園は道路を挟んで離れているので、道を聴く時要注意。佐藤さん登山せずバスで衣笠駅へ。熊坂先導探検家調査でトンネルを抜けた交差点で衣笠城址入口を見つけてホッとしました。

衣笠城征服 14 : 37 「衣笠城址案内図」文字を入れて集合写真、(撮影志村さん3脚自動シャッター)



衣笠山公園へ向かって下山。鎖を掴んで急斜面岩場 大山を思い出す

暫く歩くと落ち葉絨毯歩き快適



今日唯一のウォーキング味わい 三浦にもこんな山道あったのか? 無事下山しました



道路の向かい側が**衣笠山公園**です。若いカップルにも教えて戴く、カップルが行くのが見えました。

吉越L「衣笠山公園には行きません。衣笠駅へ帰ります」

トンネルを抜けます



途中バスで帰る人もいましたが、地図で見ると約1,5km殆どの人歩き。

衣笠駅アーケード商店街到着。アフター組は吉越L予約お馴染の「**お太幸**」へ16:00



創業60年の老舗。珍しく熟女5人、熟男3人の計8名。新鮮な材料に作り立て料理、「吉越L有難う！乾~杯！」生ビールの後日本酒がすいすいと入りました。獲りたての魚は美味しい。大テーブル1つで8人対面しながらの楽しいアフター懇親会でした。今日は3連休初日、開店は16:00から。主人の気配り采配が素晴らしい。各階満席の大繁盛。18:00解散。小生この後商店街でミカンを買って帰る。小さいが12ヶ入りで¥370安い。早速自宅でわかめとみかん食べたら美味しいと家内に喜んでもらいました。

編集後記：今日も快晴、11月はKWCウォーク4回目の参加で、この後25日(日)は平山Lの旧小机領三十三観音巡り最終回参加5回となる。好天に恵まれよく歩いた事になる。今日のコースは海岸散歩と記念館、神社と軽く考えて参加したが、最後衣笠城址は予想以上に厳しかった。小生も以前KWC三浦半島ウォークでもらった「よこすか観光マップ」で事前に調べ地図も作成していて、衣笠城址と衣笠山公園は繋がっている積りでしたが大間違いでした。標識もありましたが、新しい道路がトンネル付きで出来て判りにくかった。熊坂さん、木村さん探索ご苦労様でした。小生は地元の人に聴き、志村さんスマホ探索を含め無事衣笠山制覇出来ました。参加人数14名も手頃良かったのかなと思います。お互い助け合うKWCらしい素晴らしいウォーキングでした。三浦半島は奥が深いことも見直しました。吉越L素晴らしいマップ準備と地元知人海店での茶会設定有難うございました。深く感謝致します。

いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から困繞しました。